

TOPPAN、「TOKYO PACK 2026 ―2026 東京国際包装展―」に出展
市場変化に柔軟に適応し、持続的な事業成長を目指す「レジリエンス」をコンセプトに、
TOPPAN の最新のパッケージソリューションを事例とともに紹介

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:野口 晴彦、以下 TOPPAN)は、2026 年 10 月 14 日(水)から 16 日(金)に東京ビッグサイトで開催される「TOKYO PACK 2026 ―2026 東京国際包装展―」に出展します。

今回、「TOKYO PACK 2026」の TOPPAN ブース(東 2 ホール:小間番号 2R10)では、市場変化に柔軟に適応し、持続的な事業成長を目指す「レジリエンス」をコンセプトに掲げます。

中東情勢影響や地球規模での環境問題など、企業を取り巻く課題が多様化・複雑化する中、TOPPAN は顧客企業の事業継続性と環境対応を同時に実現するための新しい考え方として「レジリエンスパッケージ™」「レジリエンスマーケティング™」を提起します。この考えのもと、商品設計・素材開発からリサイクル・資源循環に至る、商品バリューチェーンにおける課題をトータルで解決する製品やサービスを、具体的な実績事例とともに紹介します。今後も TOPPAN は時代の変化に柔軟に対応し、顧客企業の持続的な事業成長に貢献していきます。



「TOKYO PACK 2026」 TOPPAN ブースイメージ © TOPPAN Inc.

■ TOPPAN の 考える「レジリエンス」

パッケージを取り巻く市場環境は、国際情勢の動向に起因する原料供給の不確実性や、国内外における環境規制の厳格化、それに伴う生活者の購買意識の変容など、対応が不可欠である大きな変化に直面しています。

TOPPAN は、このような急激な市場環境の変化に柔軟に適応し持続的な事業成長を目指す「レジリエンス」の考え方を軸に、以下の 2 つのアプローチで顧客の課題解決に貢献します。

・「レジリエンスパッケージ™」

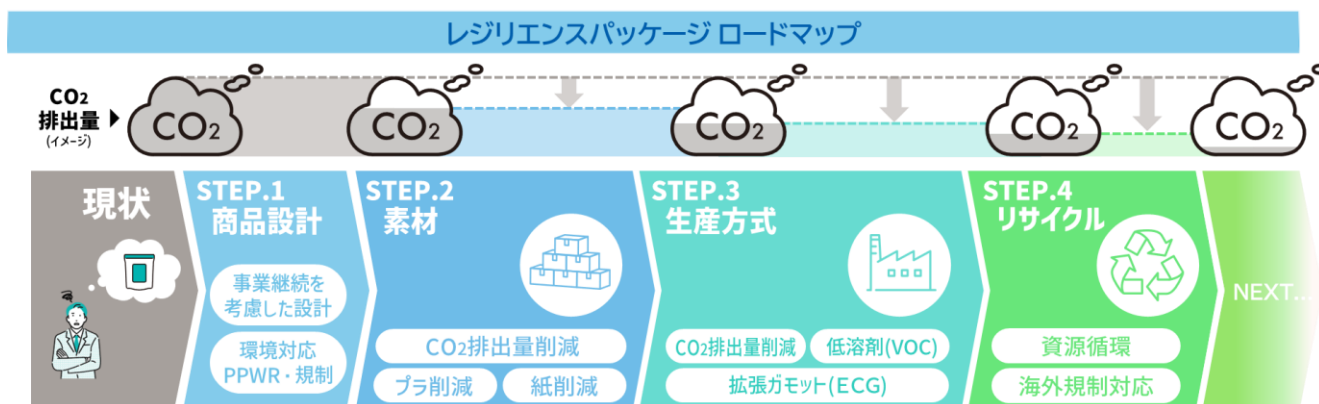
原料供給難や環境規制強化などの市場変化に強い、これからのパッケージ製造に求められる新たなモノづくりの考え方です。事業継続性の向上と環境対応の両立を前提に商品設計、素材開発・選定・パッケージ生産・リサイクルを進める、次世代のパッケージ思想として提起します。将来的には TOPPAN が提供する「SX(サステナブルトランスフォーメーション)パッケージ」の必須要件とすることを見据えています。

・「レジリエンスマーケティング™」

従来のマーケティング手法に地政学リスクや事業継続などの視点を付加した新たなアプローチです。単なる人口統計や購買データの分析にとどまらず、目まぐるしく変化する市場環境や需要の変動をいち早く捉え続けることで、変化に負けない強い商品設計と継続的な商品供給を実現し、販売機会を逸さず事業の維持・発展を推進します。

■ 主な展示内容

顧客企業の事業継続と環境対応を同時に実現する、「レジリエンスパッケージTM」「レジリエンスマーケティングTM」を、商品設計・素材開発・パッケージ生産・リサイクルなどの商品バリューチェーンに沿った「レジリエンスパッケージ ロードマップ」のもとで提案します。



1. 商品設計

- ・一つの製品に複数のパッケージ形態仕様を検討する“マルチパッケージ化”によるリスク分散の提案
- ・生活者動向や業界トレンドを捉えたレポート提供で、需要変化に対応した商品企画の支援

2. 素材開発

- ・パッケージ主要フィルムの全てに再生材を活用し、バージンプラスチックの使用量を削減することでサーキュラーエコノミーの実現に貢献する、再生材パッケージの開発・提供
- ・透明バリアフィルム「GL BARRIER」(※1)による脱アルミ化や、フィルム層構成削減等による CO₂ 排出量削減の実現

3. 生産方式

- ・水性フレキソ印刷(※2)、EB オフセット印刷(※3)、ノンソルベントラミネーション(※4)等、有機溶剤の使用量を最小限に抑え、地球環境に配慮したサステナブルなパッケージ生産手法である「SX 生産方式TM」
- ・当社の全国の生産拠点や多くのパートナー企業との連携のもと、顧客企業の商品生産を強力にサポートする、商品充填・セットアップ等の BPO 体制

4. リサイクル

- ・ALL-PP や ALL-PE をはじめとする、リサイクル適性に優れたモノマテリアル（単一素材）パッケージの開発・供給
- ・生活者に対するリサイクル重要性の啓発や業界でのリサイクルスキーム構築に向け、メーカー企業や官公庁・自治体等と連携した PoC（概念実証）の推進

■ TOPPAN グループのサステナブルブランド「SMARTS™」における位置づけ

「SMARTS™」は、パッケージを起点とした TOPPAN グループのサステナブルブランドです。パッケージで培った技術・ノウハウに、マーケティング・DX・BPO などのリソースを掛け合わせ、バリューチェーンに沿った最適なサステナブルソリューションを提供します。

この「SMARTS™」のもと、昨今の急激なパッケージ市場の環境変化に対して柔軟に適応し、事業を持続・成長させるための考え方・コンセプトとして提示するものが「レジリエンス」です。原材料供給をめぐる不確実性や環境規制の強化など、市場環境の変化に対応するモノづくりの考え方「レジリエンスパッケージ™」と、従来のマーケティング手法に地政学リスクや事業継続の視点を加えた「レジリエンスマーケティング™」の 2 つのアプローチ軸で、顧客企業の持続可能な事業展開をサポートします。



■ 「TOKYO PACK 2026」について

名称: TOKYO PACK 2026 – 2026 東京国際包装展 –

会期: 2026 年 10 月 14 日 (水)～16 日 (金)

会場: 東京ビッグサイト 東ホール (TOPPAN ブース: 東 2 ホール小間番号 2R10)

主催: 公益社団法人日本包装技術協会

公式サイト URL: <https://www.tokyo-pack.jp/>

■ 「TOKYO PACK 2026」 TOPPAN が登壇するセミナー

「レジリエンスパッケージのすすめ ～BCP と ESG の両立」

会期: 2026 年 10 月 14 日 (水) 13:20～13:50 (30 分)

会場: 東京ビッグサイト 東 2 ホール C 会場

講師: TOPPAN 株式会社 生活・産業 BU SX マーケティング本部 甲斐 勲

参加方法: 当日受付制 (先着 100 名)

※1 GL BARRIER

「GL BARRIER」は TOPPAN が開発した優れたバリア性能を持つ透明バリアフィルムの総称です。独自のコーティング層と高品質な蒸着層を組み合わせた多層構造で、安定したバリア性能を発揮します。また多くの優れた特性が高い評価を受け、食品から医療・医薬、産業資材に至る幅広い分野において、世界中で採用されています。

URL: https://www.toppa.com/ja/living-industry/packaging/products/barrier_film/

※2 水性フレキソ印刷

水性インキを用いる凸版印刷の一種。有機溶剤をほとんど含まず、CO₂や VOC (揮発性有機化合物) の排出量を低減します。

※3 EB オフセット印刷

電子線 (Electron Beam) を活用した印刷手法で、EB を照射しインキを瞬時に硬化させるため、高温の乾燥機を用いる工程が不要です。また、有機溶剤をほとんど含まないため、CO₂や VOC (揮発性有機化合物) の排出量を低減します。

※4 ノンソルベントラミネーション

有機溶剤を使わないラミネート方式。有機溶剤を使用しないため、CO₂や VOC (揮発性有機化合物) の排出量を削減します。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上